



The service club to the YMCA
**THE Y'S MEN'S CLUB OF
 TAKARAZUKA**

宝塚ワイズメンズクラブ
 〒662-0977 西宮市神楽町5-23
 西宮YMCA内
 ☎(0798)35-5987

"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS CHARTERED MAY 22,1988

宝塚ワイズメンズクラブ 2013年7月会報 第298号

主 題 ・ 標 語

- 国際会長(I P) Poul V. Thomsen (デンマーク)
 主題: "Go Ye Into All The World" 「全ての世界に出て行こう」
 標語: "Extension, Extension, Extension."
 「エクステンション、エクステンション、エクステンション」
- アジア地域会長(AP) 岡野 泰和 (日本)
 主題: "Start Future Now" 「未来を始めよう、今すぐに」
 標語: "One Asia, One World" 「ひとつのアジア、世界はひとつ」
- 西日本区理事(RD) 高橋 稔彦 (岩国みなみ)
 主題:「志をもって例会に参加し、学びの機会をもちましょう。」
 "Attend club meetings with a clear motive to make the most of them."
 標語:「経験がワイズを育みます」
 "Your experience makes you a good Y's man."
- 六甲部長 山田 滋己(神戸ポート)
 主題:「さらなる交流 さらなる国際 さらに活発な六甲部へ」
 《一つ一つの楽しい活動を原点にして》
- 宝塚クラブ会長 石田 由美子
 主題:「交流こそワイズの楽しさ」

今月のテーマ: Kick-off, EMC-C

宴会の時刻になったので、僕を送り、招いておいた人々に、『もう用意ができましたから、おいでください』と言わせた。すると皆、次々に断った。最初の方は、『畑を買ったので、見に行かねばなりません。どうか、失礼させていただきます』と言った。

ルカ 14:17, 18

2013年7月第1例会

日時: 2013年7月10日(水)18:30
 場所: 宝塚ホテル ゴールドの間
 会費: 会員3,000円、会員外3,500円
 ドライバー 若林 成幸
 鯖尻 佳子
 長尾 亘会長
 全 員
 坂田 昌鴻
 小島規似郎
 長尾 亘会長

開会点鐘
 ワイズソング
 聖 書
 祈 禱
 ゲスト・ビジター紹介
 役員交代式
 会 食
 総 会

- 1) 事業報告 2) 決算報告
 3) 新年度活動方針 4) 予算審議

誕生日のお祝い

会長報告 石田由美子新会長
 YMCA報告 谷川 尚連絡主事
 閉会点鐘 石田由美子新会長

2013/14 役員	会 長 石田由美子 直前会長 長尾 亘 副会長 杉谷和代、福田宏子 書記 若林成幸 会 計 吉田 明、堀江裕一 会計監査 今田 稔 メネット連絡 福田素子 連絡主事 谷川 尚、 六甲部地域奉仕環境事業主査 長尾 亘
事 業 委員長	YMCAサービス・ユース 長尾 亘 地域奉仕・環境 山崎泰男 EMC 多胡葉子 交 流 杉谷和代 ファンド 堀江裕一 広 報(ブリティン) 長尾 亘、(HP) 長尾 亘
特別事業 委員長	NGO 三品ミチ子 じゃがいも 福田 肇 バザー 山崎泰男 市民クリスマス 若林成幸
お誕生日 おめでとう!	杉谷和代(7月13日)
6 月 実 績	在籍会員数 25名 例会出席者数 24名 うち会員数 20名 出席率 80.0% メイクアップ(内数) 1名 メネット 2名 コメント・マゴメット0名、ゲスト・ビジター2名
	BFポイント 6月 4,900円 累 計 53,191円 ここにこBOX 6月 3,000円 累 計 31,000円 物品販売累計 39,380円

新会長挨拶

2013-2014 会長 石田由美子

チャーター25周年記念例会を大盛会で終え、西日本区交流事業主任のお役目も無事に次期へ引継ぎ、ホッと一息、と思う間もなく宝塚クラブ第26代会長の順番が回って来ました。

この1年、西日本区役員として初めてワイズメンズクラブを見る機会を与えられて、大きな発見、反省、学びがありました。中部から九州部まで、つまり、金沢から鹿児島まで、9つの部はそれぞれ地域性があり、個性があります。その中の87クラブ、全てとお話することは出来ませんでした。広くワイズメンズクラブを知ることが出来ました。

期間中、大きく確認したことは交流の大切さです。交流事業主任のテーマを「交流こそワイズの楽しさ」と決めたことは間違いなかったと強く確信しました。2004年、私が宝塚クラブに入会して2か月後、第7回西日本区大会が石川県・加賀市で開催されそれが私の初参加になりました。その時、クラブの先輩たちが他の部、他のクラブのワイズ達と親しく再会を喜び合っている様子を見て、「ワイズってすごいな！」とパワーを感じた事を強く憶えています。このパワーの原点は親睦、交流です。それらを生み出すのはまず楽しい例会です。私は、毎月の例会がとても楽しみです。今月はどんなお話が聞けるのか、どんな方がゲストとしてご一緒にお食事が出来るのか、先月欠席だったメンバーは今月、出席だろうか、と考えるとわくわくします。会長方針としては、「例会を楽しく！」をコアにして進めて行きたいと思っています。毎回、登録会員数より例会出席者数が多いのは必ず外部からのゲストの出席があるということです。素晴らしい事ではありませんか？このゲストが感動して帰って頂けるおもてなしを考えましょう！

宝塚クラブは誰かが知らない間に必要なことをさりげなく処理してくれる協力的なクラブだと自慢しています。そして適材適所に外へ向かっても活動出来る素晴らしいパワーがあり、今や、知名度は抜群です。その上、今回、三品ミチ子ワイズが栄えある奈良傳賞を受賞し、ポイントがドッと上がりました。大きな誇りです。

このタイミングで2回目の会長をさせて頂く幸運を感謝します。



2013年6月第1例会

この1ヶ月、当クラブは設立25周年記念行事、デンマークのギブクラブから来日のメンバーの接待、及び恒例のバザーと大きなイベントがあり、一段落した6月12日に宝塚ホテルゴールドの間で、メンバー、メネット、ゲスト総勢

23名が参集し開催されました。

今回は長尾会長最後の例会となり、会長の開

会点鐘、小嶋星子さんの聖書朗読、水谷恭子さんの祈祷で進行しました。その後岡野局長よりアジア大会の参加者募集について、石田メンより東日本区大会の報告等がありました。また長尾会長より会長報告で「例会をいかにするか」というテーマに取り組んだ事、また反省点についても述べられ「出来る人が出来る時に出来る範ちゅうで」という姿勢が今後の運営に必要で



はないかとの、ご意見を述べられた。

その後各事業部から本年度の事業報告と次年度の事業計画の発表がありました。

そして、例会のメインであるスピーチに三田 YMCA ユースリーダーの吉川洋子さんから「タイワークキャンプ」に参加された報告がありました。その報告によると、現実の問題としては、水の大切さ、地球温暖化、ストリートチルドレン等が現地では大きな問題になっていることが報告されました。

。また吉川さん自身は「ありがとう」と「当たり前とは？」とはどういった事かと自問されたようです。それにしても最近の若者は勉強や仕事で海外に行きたがらない風潮は如何なものかと考えさせられます。その意味からもリーダー達がワークキャンプでいろんな国々、人々と交流を深められることは貴重な財産になると思料します。

その後、谷川主事から連絡事項があり、最後に長尾会長の閉会点鐘で終了しました。

長尾さん、ご苦労さまでした。(福田 肇)

6月第2例会報告

6月19日(水)18時30分からハッピーハウスにて6月第2例会が、長尾会長、多胡、石田、福田宏子、吉田、堀江、谷川主事、若林各メン、今田メネットが出席して行われた。

1. 7月第1例会の進め方。年次報告書をもとに12/13年度の決算報告、13/14年度の活動方針・予算等を審議する。
2. 13/14年度の各委員会の構成メンバーの確認を行い、また吉田メンの会計実績をもとに予算案を協議した。
3. 六甲部の7~8月活動計画が報告された。
7/13(土)午後、評議会・EMC事業研修会・納涼例会。於；ブルーメドウ。
8/14(水)宝塚第1例会。六甲部長の公式訪問。
4. 第16回西日本区大会／岩国クラブとの

DBC 締結式等の進行について確認した。席上、三品メンが奈良傳賞の授賞の予定。大会参加者は13名。

5. 7/17 三品メンの奈良傳賞の授賞を祝う会・長尾会長のご苦労さん会を「がんこ亭」にて行う。開始時間は18時、4000円。
6. ブリテンの執筆者、編集日程を確認した。
7. 六甲部第1回評議会

2013年7月13日(土) 13:30~19:00

神戸大海事科学部(深江キャンパス)

(若林)

「ユースコンボケーション参加の気持ち」

まず最初に、今回ユースコンボケーションへ参加する機会をいただき感謝を申し上げます。私は、ユースコンボケーションに参加するにあたり、二つの目標を掲げました。

ひとつは、『自分の世界観を少しでも広げ、これからのワイズの活動や保育の現場にも活かしていけるようにする』、もう一点は『積極的にチャレンジしていく』という目標を掲げて臨みたいと思っています。

日本の豊かな環境や文化の中で生活していると、どんなことでも当たり前になってきている中で、海外のその土地ならではの環境や文化に触れることで自分の世界観を広げたいと思っています。そして、そのことを今後のワイズの活動や保育の現場にも活かしていけるよう、自分なりに工夫し、子ども達との関わりの中で私自身も成長していきたいと思っています。

また、今回もう一つの目標として掲げた『チャレンジ』とは、貴重な体験や人との出会いを通して、どれだけ積極的にいろいろなことにチャレンジしていけるのかという、自分自身への課題を持って参加したいと思っています。アジアの人との出会いや交わりを通して自分に何が出来るのかということにも積極的にチャレンジしていきたいと思っています。

桑田 勝弥

第16回西日本区大会

名古屋能楽堂とい会場で始まった。第16回西日本区でバナーセレモニーが会長最後の仕



『西日本区大会参加のコメント』

名古屋能楽堂と言う印象的な会場で不便もありましたが無事に進行できて中部のスタッフには感謝です。成瀬理事のあの笑顔を感じながら事業主任報告をしました。最後の、理事からの「感謝の言葉」は始まると同時に涙、涙でした。荒川恭次ワイズの選んだ曲、「花は咲く」は余りにも合いすぎて、私は心の中で歌いながら、泣きながらフラを踊っていました。「みんなようやってくれたなあ」って成瀬理事は言ってくれてると思います。（石田由美子）



事と成りました。生まれて初めて能舞台上に立てた事は良い思い出と成りました。

開会セレモニーの後、能楽堂で岩国クラブの会長と集まり、理事、部長の立会の元で DBC 締結式を行いました。東日本区まちだクラブに



続いて、二番目の DBC と成りました。西日本区大会の懇親会の後、岩国クラブと宝塚クラブだけで友情を確認しました。来年の西日本区大会は岩国で岩国みなみクラブがホストクラブで親クラブの岩国クラブと DBC を締結したので、早速アピールの時に参加しました。

第16回西日本区大会に参加して金箔の鯨が何十年振りかの名古屋訪問を歓迎してくれた。立派な能楽堂の式典は荘厳かつ重厚で趣があり、三品メンの「奈良傳」賞、受賞という名誉も加わり、感激一入であった。古典芸能、狂言の楽しさをも再確認したひと時であった。

800人を上回る懇親会場からも夕日に浮かぶ名古屋城も花を添えてくれた。大会初(?)のドアサプライズでは購入した2枚の抽選券がそれぞれに当選! ひょっとして今年は当たり年(??)という気持ちになった。翌日の聖日礼拝に続き、各主任の事業報告では、期間半ば成瀬理事が天国に召された後、より一層キャビネットの方々のより強い結束による活動の足跡を拝見することができた。

閉会後は「ノリタケの森」で陶磁器の美を堪能、また「ボストン美術館」では「アートに生きた女」と題して女流画家による作品を

鑑賞することができ、非常に文化的要素の高い大会を味わうことができた。(福田 宏子)

西日本地区大会に初めて参加して予備知識のないまま大会に参加した自分自身にただただ反省だけが残る1泊2日の旅でした。しかし宝塚クラブの方々と楽しい時間を過ごせたことは大きな収穫でした。台湾のアジア大会に比べると少しはメンバーとしての自覚が出来たでしょうか？受賞された三品さんの功績には深く敬意の念を抱き、故成瀬理事のお子様たちが招かれたことが大変印象に残りました。帰宅後、入会時にいただいた資料を読みながら事業報告のことをいろいろ思い出しました。来期はクラブの交流委員長という大役を担うことになり、DBCの岩国クラブのことも思いだしながら、出来るだけ交流の機会を持てるようにしたいと思っています。やはり大会参加は刺激になりクラブ例会に出席する心構えも以前と変わるような気がします。楽しく活気のある例会になるよう交流委員長として勉強させていただきたいと思えます。どうぞ皆様のご指導よろしくお願い致します。(杉谷和代)

【今月のみ言葉】

辻 建 牧師

宴会とは言わず普通の食事にでも友人を招くことは楽しいことです。食べて、飲んで、おしゃべりをする盛りあがった雰囲気は予想するだけで、準備のわずらわしさを忘れてしまいます。しかし予定の時間がきて、ことわりの返事が入り始めるとがっかりします。あれだけの労力と時間がみな無駄にされたしまった気がするからです。このイエスの譬え話しはそうした招待した主人の失望を色濃く物語っています。しかし一瞬ギクリとします。今のわたしの境遇も神様からの招待の場ではないのかという意識が働いた時です。自分はそれをなんとか

拒絶しようとしている。別の満足をもとめて今の境遇から逃れようとしている。それは招待者のここを失望に追い込んでいるのではないかと。



25周年の喜びをともにお祝いできる機会をいただきありがとうございました。神戸 YMCA のランチとして、より地域に根ざした活動をとの願いを受け 1986年に設立された宝塚センター、そしてその働きをスタッフ、ユースボランティアとにお支えいただいた宝塚ワイズメンズクラブが 1988年にチャーターされ、ともに地域活動を行っていく中で、様々な困難な状況の中でセンターを閉じた経緯もありますが、それでもこの地域で YMCA の活動を行ってこられたのは、皆様の働きがあつてからこそと改めて感謝の念を感じます。席上でも石田メンに特にユースリーダーへの感謝の言葉をいただきましたが、今後も「明日の指導者は今日つくられる」と先人の言葉を受け継ぎ、YMCA の働き、青少年活動の充実を図らしていただきます。またあわせて西宮 YMCA ユースリーダーへのご支援をこの期に賜りましたことを感謝いたします。ありがとうございました。

[今後の予定]

1) 第31回午餐会

国際港湾都市として発展してきた神戸には多くの外国人が違った宗教をもってコミュニティを形成してきました。その歴史を辿りながら異なった宗教が共存してきた街、神戸について学びます。是非、ご参加ください。

日時：7月6日(土)正午～午後2:00

場所：神戸 YMCA 4階 会議室

テーマ：「ミナト神戸の宗教とコミュニテ

イ」

講師：徐亦猛(ジョ・イモン)さん

会費：1,500円(昼食代含む)

2) 武田寿子さん感謝会のご案内

2003年より、公財)神戸YMCA理事長として、そして神戸キリスト教青年会会長として神戸YMCAの働きをときに牽引、ときに支えていただきました武田寿子さんが、その職を中道基夫さんにバトンを譲ることとなりました。これまでの働きを感謝する会を持ちますので、ぜひご参加ください。

日時：7月6日(土)午後5時～7時

場所：ANAクラウンプラザホテル ロビー
ザ テラス

会費：6,000円

申込：神戸YMCA本部事務局

(078-241-7201)までお知らせください

谷川 尚(連絡主事)

「西日本区大会アルバム」

○素晴らしい名古屋能楽堂



○開会式後の岩国クラブとのDBC締結



○三品ワイズが「奈良傳賞」を受賞しました。
7月17日(水曜日)に祝賀会を行います。



○宝塚クラブ参加者(石田ワイズは?)



○名古屋城

※永年理事引継式立会人をされていた元理事、森田恵三ワイズご夫妻が立会人を引退されました。

お疲れさまでした。有難う御座いました。

